



田舎旅館の一人娘を
性奴隷にした話







ごごめんなさいっ

あっ...

!?

オド

何か困っているの
かなあって思っ

突然声をかけられたら
びっくりしますよね

かわいい子だなあ...

それにしても...



セーラー服...?
地元の学生さんかな...

なににせよ助かった...

あ...

えと...

運が良かった
この状況で宿の娘と
出会えるなんて！

いやー、ほんと
助かったよ

どうなることかと
ヒヤッとしたよ

この子は城崎つむぎちゃん(15)
旅館の一人娘でちょうど
学校から帰る途中だったようだ

大丈夫ですよ、
バス停からそこまで
遠くないですから

けけけ

あはは

でも歩いて20分
くらいだから地図
がないと厳しいかも

いやあ、
そんなこと...

ドキドキ

ドキッ

それにしても東京から
来たなんてすごいです♪

憧れちゃうなあ

いい子だなあ...
こんな子とセックス
したい...

ドキドキ





ドッ

あ、
着きました！



そっか

家の事情……？
なんだろう、不景気で
従業員を減らしてる
とかかな……？

この時、ふとした
違和感を感じた。



ようこそ！

城崎温泉旅館へ！



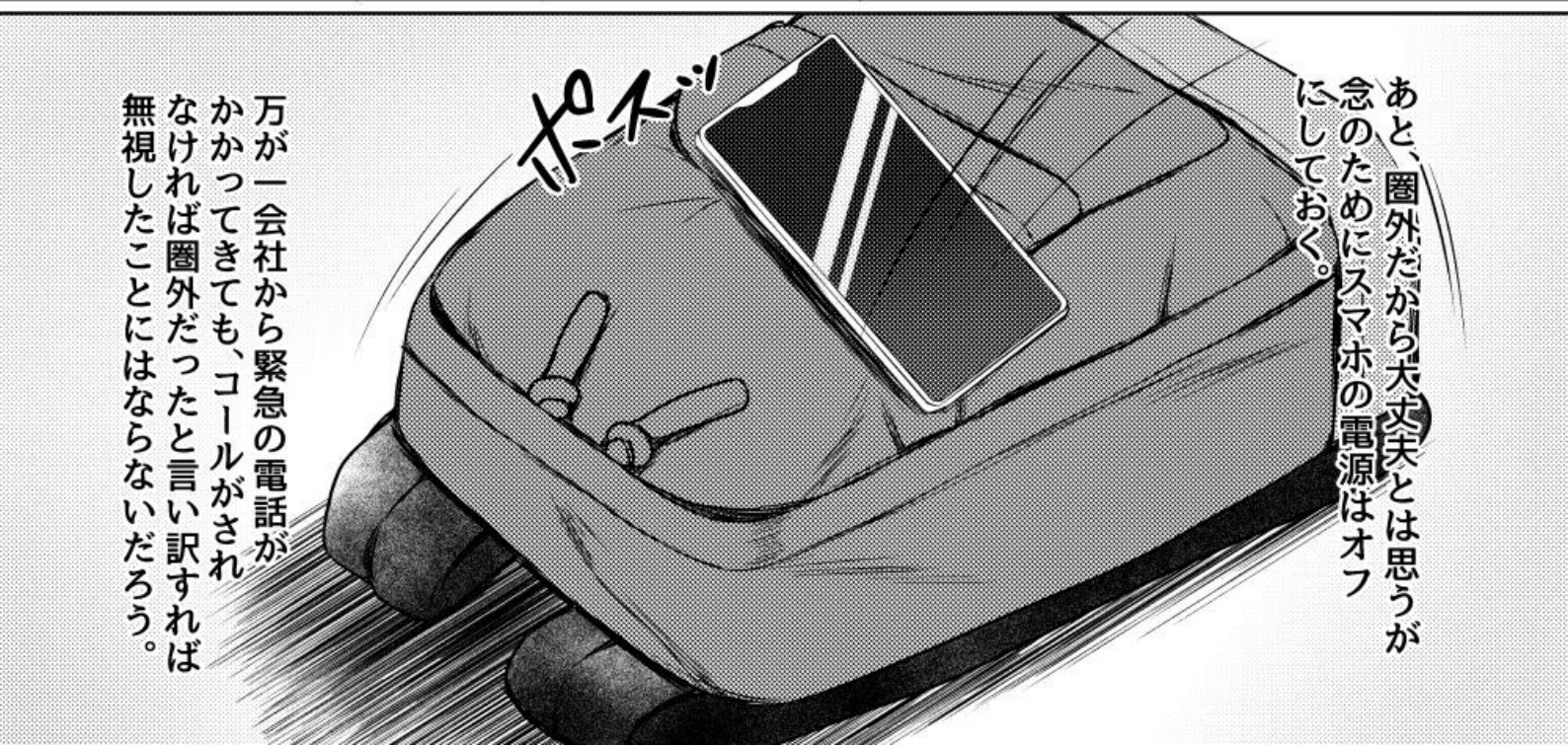
一刻も早く温泉に浸かりたい。

長時間電車とバスに揺られ、
長旅から解放された俺は
手早くチェックインを済ませた。



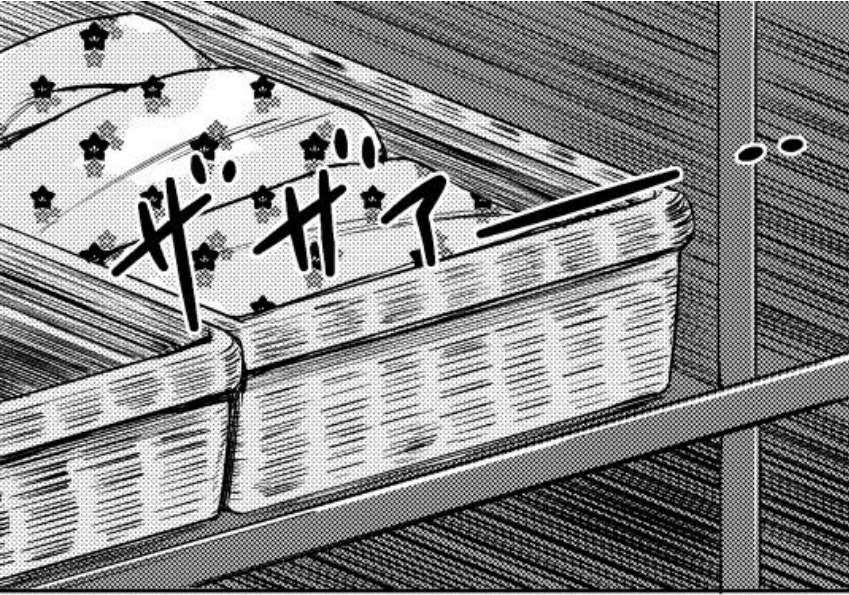
何があっても、今は風呂に入っ
てリフレッシュしたい。

客間でくつろぐのもそこそこに
この宿自慢の風呂へと向かう。



あと、圏外だから大丈夫とは思
うが念のためにスマホの電源は
オフにしておく。

万が一会社から緊急の電話が
かかってきても、コールがされ
なければ圏外だったと言い訳す
れば無視したことにはならないだ
ろう。











それは
さすがに…

今立ってる…



えっ
前も?!

それじゃあ、前も
お流ししますね〜

ドッ



何
が?!

大丈夫ですよ



ここに来た人みんな
されてますから…

何も心配しなくて
いいですよ

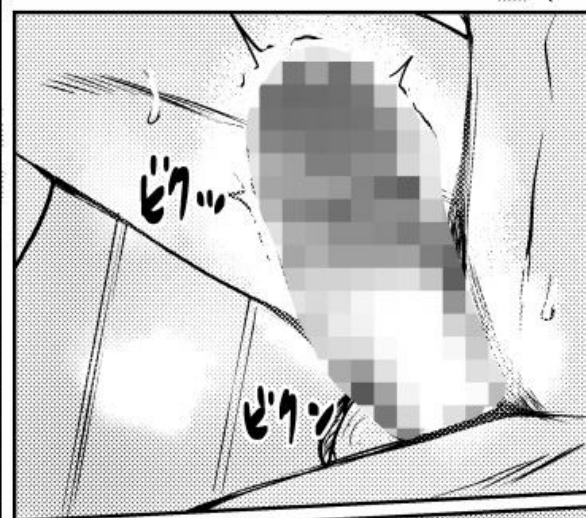
あつ…

ドキッ

ドキッ

ハッ…







つむぎちゃん…君はいつたい
どういうつもりでこんな…
自分から触ってくるなんて
君はいつたい…



わたしの体を見て
こんな風にしちゃった
んですね…?

こんな固くして
かわいい…♡



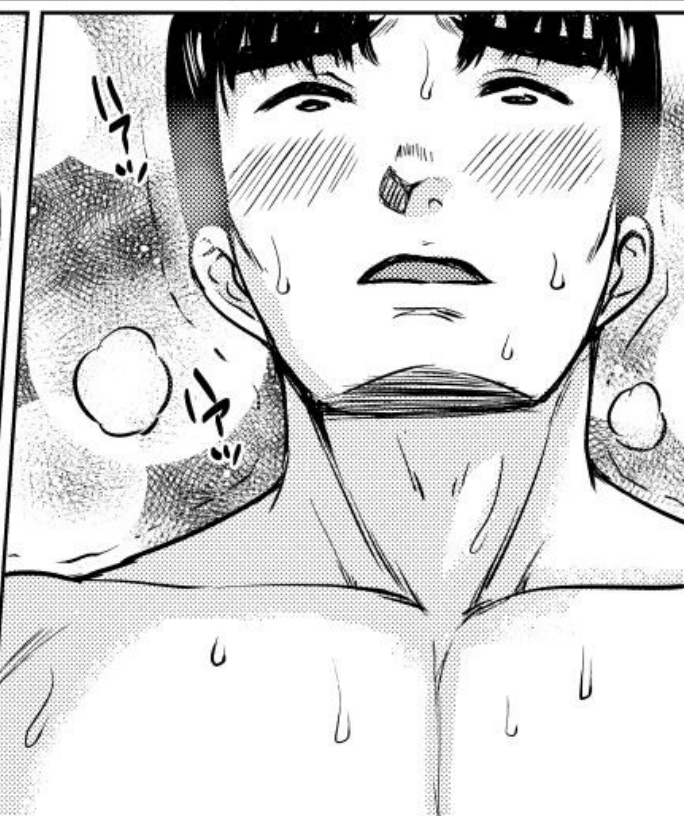
男の人ってこうされると
気持ちいいんですね？
わたし、知ってますよ

もっとさわって
もっと気持ちよくして
ほしいですか？



そんな顔して、
素直ですね♡

う…あつ







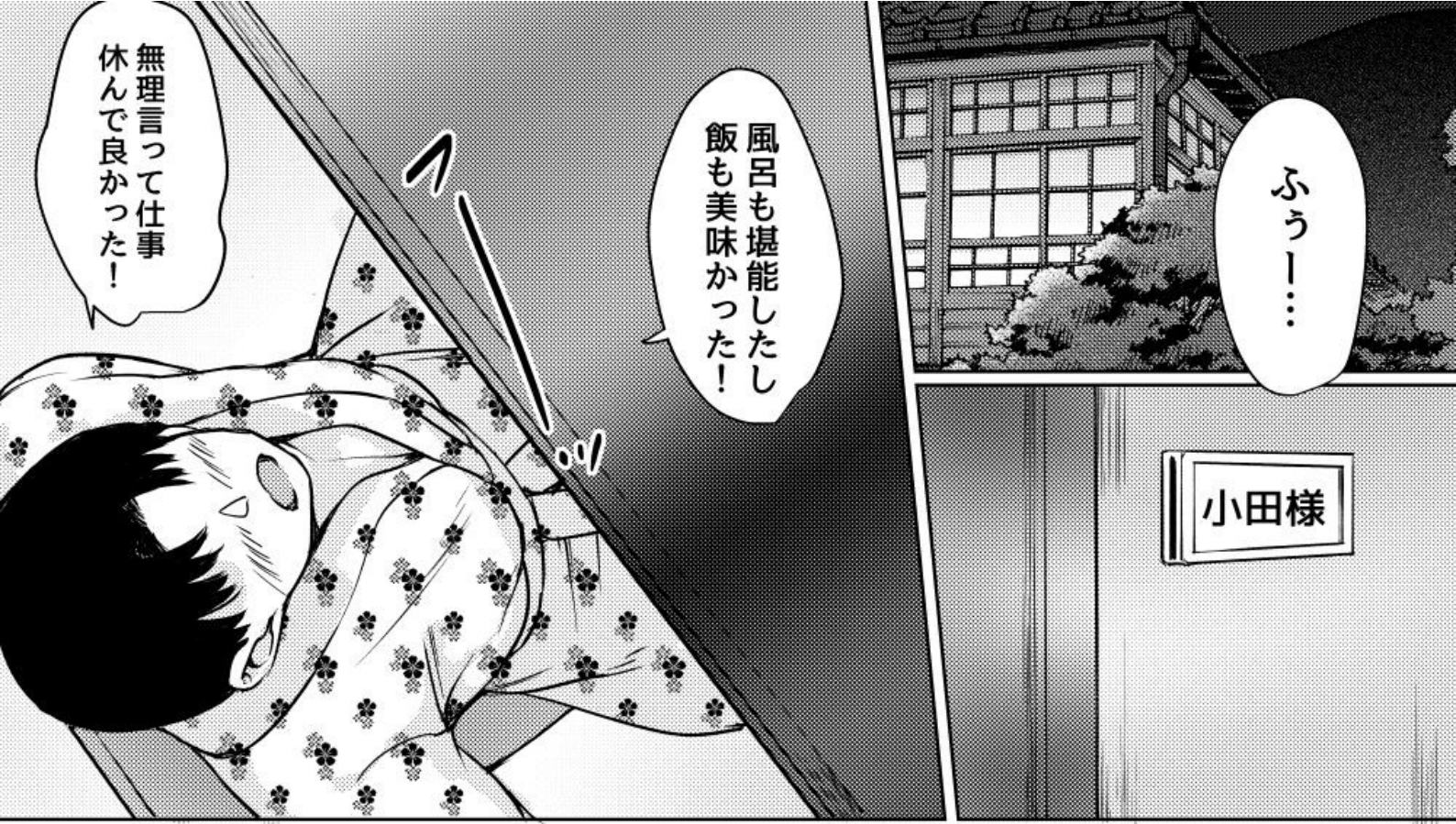












ああああああ

ああーっ！

このままでは俺の男が
すたってしまう…！

つむぎちゃん…！

お客さま、お食事の
量はちょうど良かった
でしょうか？

は、はい！
どうぞー

コンコン

失礼します









ほどよく締まってて
いやらしい足してるね
もう十分セックスできるね

あー、やっぱり
いい足してるねえー



処女なんだね

自分からエロいこと
してきたくせに
動けなくなっちゃって

ぱんつもちゃんと
脱ごうね





ひよつとして、
普段オナニーする時
おもちゃ入れてる？

すごく
スムーズに入るね



うおっ
すごい中熱いW

すごいきついのに
ぬるぬる入るW

ハァァァッ



あ♡

ふあああ
ああ♡

ふぁあ



サービスとウソ
ついて客の風呂に
乱入してさ

どんな変態な
女子高生だよ

おらイケっ！
変態まんこかき回されて
処女アクメ見せろっ

グァッ











まさか旅館の娘と
毎日セックスできる
なんて夢にも
思わなかったが
とても有意義な
日々だった。

それまでの数日間の間、
俺はこの子と部屋で
セックスしまくった。

そして帰りの日、

わざわざ見送りして
くれてありがとう

いえ…

登校のついで
ですから…



くれぐれも言うが
他の男とはセックス
したりするなよ？
お前は俺の…

!?



はい…♡

あなたのえっちな
性奴隷です…♡

あ、ああ

次はもっと
気持ちよくさせて
やるからな…♡

あとがき

この度はサークル「ねこ缶」の作品をお手に取っていただき誠にありがとうございます。

旅先の旅館の一人娘の女子高生が実は変態で客にサービスと言ってお風呂に乱入できて、戸惑う男をよそに好き放題してきてエロいことをしてくる…コロナ自粛で旅行に行けないこともあって願望を描いてみましたがいかがだったでしょうか？

この話になるまでは、客の男をいよいよもてあそんで調子にのってることを、ちゃんとお仕置き(ご褒美?)されちゃいますが、こんな女の子がいる旅館だったら何度でも行ってしまいそうですw

次回はおしっこをネタを描いてみようかなーと
思ったりしています。

まだまだ感染症も落ち着かなくて、気分もふさいでしまいそうですね。
暗いニュースとかも目についたりもしますが、
頑張って乗り越えていきたいですね。

それではまた、次の機会にまたお会いできれば幸いです。

書名 田舎旅館の一人娘はえっちな接待がお好き
発行 ねこ缶／ぬこやろう
発行日 2022.02.24
著者 ぬこやろう

twitter: nukomaru

pixiv: <https://www.pixiv.net/users/243824>

無断転載、アップロード。禁止事項違反確認時は罰金を請求します。

All rights reserved. A fine will be charged
upon confirmation of violation of prohibited matters.

